

磐越西

線での

事象が 発 はなかった対策も必要な 号一覧表が正しい表記 を行うことに加え、系統

系統番号とは?

キハ110系、及びGV-E40 0系気動車を使用する列車では、モ

ニタ等に「系統番号」と呼ばれる3

桁、又は4桁のコード番号を入力す ることで、車内の自動放送やワンマ ン運賃表示器の表示、客室ドアの制

ったことから、確実な対応 た取扱いは定めていなか 先変更等に対する統一し

ことから、今回の取り扱

定めたとしました。

日本ユニオンにいがた

たため、本来は開くはずの 系統番号が古いものだっ 覧表を参照して入力した

って系統番号を入力した

組合側は、乗務員が間違

た事象の対策として取扱 客さまが降車できなかっ 2両目のドアが開かず、お

いを決めたとしました。

これまでは突発的な行

http://niigatachihon.yukigesho.com/

よう求めました。

JR東日本労働組合新潟地方本部

2025年10月15日発行

第12号(通巻第372号)

発行者:星山 圭 編集者:組織部

2024年度申 体交渉を終

. 15

寸

更後の行先に関わらず、時一つていたものです。 更を行う時の取扱いが「変 号設定に関する申し入れ れたことに対して、乗務員 する列車が急遽の行先変 の団体交渉を行いました。 V―E400系の系統番 同系列の気動車で運用 号·キハ110系及びG 新潟地本は9月3日、申 | 刻表に記載された元の列 |の作業の負担増や安全、サ |を求めて申し入れを行な |確実な取り扱いへの変更 |るように支社内で統一さ |車の系統番号を入力」とす ービス上の観点から、より

い系統番号の資料搭載が事象の原

|列車で、運転士が車載の一 れた経緯を明らかにする った磐越西線のワンマン 支社側は、行先変更とな の取扱いに統一さ」生した原因を問うと支社 認識を示しました。 なかったことが原因との いの指導が統一されてい 間違っていたことと、取扱 側は、系統番号の一覧表が

はないかと指摘しました。 であれば、対策が違うので っていたことが原因なの のではなく、一覧表が間違 と説明しました。 るにあたり、

御などを行っています。 特にワンマン列車においては、客 アの全車(全車両のドアが開 自車(先頭車両のドアのみ開扉) 替えを自動で行っているた 系統番号の設定誤りは、お客さ ご迷惑に直結します。

行先が流

とを防げるため、同じ事象 |系統番号を設定すればお | 先して決めたとしました。 を発生させないことを優 客さまが乗降できないこ 支社側は、行先変更前の

としました。 |搭載することも検討した たと認め、正しい一覧表を ていたことは不適切だっ 間違った系統番号が残っ だと指摘すると支社側は、 ければ起きなかった事象

一覧表の内容が古くな

| えれば再発する可能性も |から今回の判断に至った |あるが、元々の時刻表記載 間違えることがないこと の系統番号を入力すれば その上で、入力時に間違

統一した取扱 いを決め

たとしました。 方が良いという意見はな 策が良いという判断をし あったと思うが、 統番号一覧表を使用する かったのかを問いました。 に対し組合側は、 支社側は、様々な意見は も聞 いたとする支社側 現行の対 新しい系

|側は、更新する度に載せ替 なかったのか質すと支社 |の管理を行うことは考え えるのは難しいと判断し たとしました。 その上で、異常時という 覧表を載せ替えるなど ダイヤ改正毎に新しい

第一に考えたとして、元々 象を起こさせないことを 取扱いであっても同じ現 焦りも生じる状況下での の時刻表記載の系統番号

認して入力することはな を使用すれば一覧表を確 たと説明しました。 いので撤去することにし

社員が安心して働ける組 本部申10 号を経営側に提出 織 体制

を!

1.

36 事業本部すべてに

設置すること。

「安全企画ユニット」

を

■本部申10

号

申入れ項目

|た新たな組織と働き方に 側より「JR東日本グルー のさらなる飛躍に向け 東日本ユニオンは経営|業本部をフォローしてい

設置すること。

「CX戦略ユニット」を

36 事業本部すべ

| 解明を進めてきました。 |団体交渉を通じて施策の |降、定年退職まで安心して 働ける制度実現のために、

|考え方を明らかにしてき ました。 | する理由や、事業本部で行 ||う業務内容など、経営側の

|能に差はある」 「ユニット を置く事業本部が他 な関係」とする一方で「機 事

は、新たに事業本部を設置 ついて」の提案を受けて以 組織の見直しに関して

すること。

「企画ユニット」を設置

36 事業本部すべてに

すること。

|任の所在が不明確です。 |があるなど業務内容や責 |部が決まっていない業務 |フォローしていく事業本 く」としながらも、未だに

地域共創モビリティサ

36 事業本部すべ

ビスユニット」を設置

「事業本部間相互は並列

|に向けた新たな組織と働 ために、中央本部は10月9 | ら、社員の安全と健康が確 |の目的が達成できる組織 直し)に関する申し入れを き方について」(組織の見 日、申10号・「JR東日本 ができる会社組織とする 保され、安心して働くこと 体制とはいえないことか グループのさらなる飛躍 経営側が示す組織再編

> ミュニケーションユニッ ト」を設置すること。

総務・コーポレートコ

36事業本部すべてに

提出、 しました。

すること

「人事ユニット」を設置

すること。

36

事業本部すべてに

「勤労ユニット」を設置

36 事業本部すべてに

入力間違 1 防 止を優先して対策を決定

指導担当の意しいるかを質すと支社側は、 場合に全ドアは開かない ワンマン扱いで折り返す 生する問題点を把握して ので一度閉める必要があ る必要があることを挙げ ることと、自動放送で違う 行の取扱いにより発 れるので訂正す | る取扱いなのでご協力を |苦労し、お客さまにも迷惑 |が支社側は、異常時におけ とどまりました。 |お願いしたいと述べるに ないのかと指摘しました することは誤案内となら をかけていることを訴え 現 行の対策では現場も

津若松行と思ったお客さ まが五泉まで乗車してし となったにも関わらず、会 組合側は、五泉折り返し 自動 |統番号の設定がある場合 |た上で、該当する行先の系 にはその系統番号を使 れば訂正放送の必要 運転士の負担が減る

|放送で誤った行先を案内 | 求ではないと訴えました。 |番号を設定しろという要 | う要求であり、 側は、あるものを使うとい する支社側に対して組合 ことを優先した対策だと 求めました。 人作業であり、 支社側は、ワンマンは1 入力間違いを防止する 新たな系統

一とはないか重ねて問うと |があるため、この対策でお 願いしたいとしました。 も難しくエ 当直も操配等で相互確認 会に取扱いを考え直 次期ダイヤ改正等の機 ラー 異常時には - の可能性



ことから、取扱いの変更を |支社側は、この場での回答 との考えを示しました。 を考えていくこともある 今回の交渉内容は関係箇 たいとする一方で、要求や 所と共有をし、 は現行の 対策でお 新たな対策 4願いし